



【学校教育目標】「人間性豊かな心を持ち 実践力のある生徒の育成」
— 気付き、生かす —

若松中だより

千葉市立若松中学校
校報
第 43 号
令和 2年12月15日

部活動 新チームの活躍に思う

校長 古市 直彦

相変わらず新型コロナウイルスの感染拡大が気になるころではありますが、部活動では新チームの活躍が続いています。中にはまだ新人戦を自粛している種目もありますが、既に1年生大会が始まっている種目もあります。顧問ですら演奏を聴くことができなかつたコンテストや、大きな会場を使って完全入れ替え制で消毒をしながら保護者の方に見ていただくことができた発表会もありました。できる限り応援に回っていますが、どの会場でも運営者側がかなり気を遣っているのがわかります。

そして、参加している生徒たちからは次のような思いを感じました。

♥ 大会や発表会・コンクールができることに感謝しながら取り組みたい。

♥ がんばりたくてもそのチャンスすらなかつた、3年生の分までがんばりたい。

観ていて何だかうれしくなりました。

大きな会場がとれた種目では、今後、保護者の皆様にも観戦いただいて…という動きも出てきそうですが、まだまだ難しい種目や、もう少し様子を見ながら…という種目もあるようです。

「できることを精一杯！」

これからも、安心・安全に留意しながら進めてまいりたいと思っています。



1月の主な行事

1月	6日(水)冬休み明け集会、12:15完全下校	1月	27日(水)1年出前講座
	7日(木)学級・全校専門委員会		1日(月)学級・全校専門委員会
2月	8日(金)評議委員会	2月	2日(火)評議委員会、新入生保護者説明会
	15日(金)3年前期私立入試前日指導		4日(木)テスト前部活動中止期間開始
	18日(月)3年前期私立入試		8日(月)3年公立出願前日指導
	3年給食カット(2校時で下校) 職員会議、14:30完全下校		9日(火)3年公立出願(~10日)
1月	22日(金)3年第4回定期テスト	1月	1・2年第4回定期テスト(~10日)



※詳細に関しましては、各学年の学年だよりでお知らせいたします。

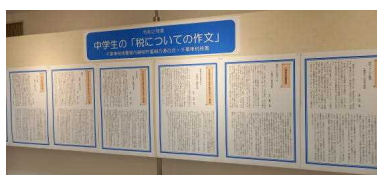
税についての作文 入賞者紹介

毎年、国税庁と全国納税貯蓄組合連合会との共催で中学生に「税についての作文」を募集しています。これは、将来を担う中学生が、税に関することをテーマとして作文を書くことを通じて、税について関心をも、税について正しい理解を深ることを目的としています。

本年度、本校からは、____くん(3-1)の作文「税金という名ボランチ」が「千葉東税務署長賞」に、____さん(3-4)の作文「税について考えてみて」が「佳作」に選出されました。

おめでとうございます。

右に、____くんの作文を紹介します。



僕には一つの疑問がある。先日、政府は国民へ一律十万円を配布した。日本の人口は一億二千万人だから、約十二兆円の費用がかかったはずだ。

また、東京二〇二〇組織委員会によれば今年開催する予定だった東京オリンピックの費用は約一兆三千五百億になるそうだ。どうして政府はこのようなばつ大な資金を調達することができたのだろうか。

その役割を大きく果たしたものが税金だ。僕は今まで日常生活の中で税金を支払う自覚があまり無かったが、調べると実に多くの種類の税金があることが分かった。

まず、税金には縦軸と横軸がある。縦軸は、税金を課す側の違いで分類する。ここでは国税と地方税に大きく二分され、さらに地方税の中で道府県税と市町村税に分けられる。

一方で、横軸は税を収める側の違いで分類する。ここでは直接税と間接税で分かれる。納税者とは税金を納める義務のある人であって、負担する人のことを指すのではない。後者のことを担税者という。例えば私たちがコンビニで商品を購入したとき、購入

税金という名ボランチ

千葉東税務署長賞

千葉市立若松中学校

三年



価格の十パーセントを消費税として負担しなければならぬ。しかしその後消費税はコンビニが担税者となって国に納税する。このように納税者と担税者が異なるものが間接税である。それに対し、納税者が自ら税務署へ出向き担税者となって納税するものが直接税である。このとき、間接税と違って納税者と担税者は一致する。この二者の違いはそればかりではない。間接税では税率が水平的公平に一律で決まっている。そのため、低所得の人ほど所得に占める税の負担額が大きくなってしまふ。一方で、直接税では、税率が垂直的公平になるよう税の負担額が異なる。その一例として累進課税制度がある。これは所得に応じて税の負担額が異なる制度で、高所得者ほど多くの税金を納める仕組みである。こうした複数の税金を組み合わせ、国民がみな公平に税を負担するような仕組みがつけられている。

さて、現在政府の収入はこうした色々な税金に全体の三分の二を依存している。その税収の中でも、令和二年度では消費税が最も多く占めている。政府の資金調達に私たちが最も貢献していると言っても過言ではない。

僕は税金を「縁の下力持ち」だと思う。僕はサッカークラブでボランチを務めているから、その大切さがよく分かる。

一つのゴールで賞賛されるフォワードと違い、ボランチはチームにどれだけ尽くしてもその活躍が目の目を浴びることは少ない。日常生活の中では税金の活躍は見えにくい。が、災害やコロナ禍で苦しむ人々への支援において賞賛されるべき大きな活躍をしている。僕はまだ未成年で、社会という大きな「ピッチ」に立ってはいない。けれどあと数年後に迎える社会という「試合」に向けて、税金という名ボランチのことを知ることは僕たち中学生にとって重要なことであると思う。

加湿器の配備について

冬期の感染症対策に向けて、千葉市教育委員会より市内の全市立小中学校にヒーターレス気化式の加湿器が配備されます。

全ての普通教室・特別支援学級教室、及び、特別教室に配備させる予定ですが、進路決定の大切な時期である3年生から優先的に配備される計画です。

本校3年生と特別支援学級の教室には既に設置が完了し、11月末より活用を始めています。

1・2年生の教室への設置は1月上旬、特別教室への設置は2月上旬を予定しておりますが、それまでは新たに購入した霧吹きを活用して、とりあえずの加湿を図っていきたいと考えています。よろしくご理解・ご協力の程お願い申し上げます。

